

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KIUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

# La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KIUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

Fondita en 1951 N-ro 855 majo 2022

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ  
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KIUŜUA ESPERANTO-LIGO  
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,  
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU  
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyô, Naruto-si,  
Tokusima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

## ENHAVO

第70回関西エスペラント大会へのお誘い	田熊 健二 1-2
楽しい作文教室 (129)	塚本 猛 3
日本昔話 (13) ウグイスの里	島谷 剛 4-5
楽譜: でんでらりゅうば	長崎民謡 / 島谷 剛 5
対訳: 源氏物語 第45帖 橋姫 (3)	紫式部/belmonto 6-7
Kajero Libervola: Mi estas pianagordisto	Tadaŝi JAMADA 8
第109回日本エスペラント大会 Dua Informilo	9-12
Rakontetoj el Hamburgo (5)	Mariko AOSHIMA 13
スマホのグループ・チャットで例会を	津田 昌夫 14
出版: 萌える若草 Arboj verdas nun (牧野三男楽譜集)	14
初心者のための語尾なし単語の使い方(終)	相川 節子 15
Mi spertis infektiĝon de KOVIM-19	Kampo TANAKA Kazuki 16
La Movado: はりまスプリングフェスタ、ほか	17
計報: 青山 徹さん	17
Vortkruca enigmo / 作文教室成績	18
作文教室課題 / KLEG事務局だより	19
Kurantaj Vortoj (戦争犯罪ほか)	19
編集ノート	20

6月18日(土) ~ 19日(日) 大阪市立中央会館

## 第70回関西エスペラント大会へのお誘い

コロナ禍第6波については、まん延防止等重点措置も3月21日をもって全面的に解除されましたが、新規感染者数は下がりきることなく増加傾向を示し始め、第7波の到来かといわれています。関西大会を開催できることを願うのみです。

さて、本誌4月号に大会のInformiloをとじ込みました。詳しくはInformiloを見ていただくとして、そのなかから番組などいくつか紹介します。

### 公開番組

一般市民の方も無料で参加できる3つの公開番組を行います。YouTubeで流す予定ですので、不在参加の方もご覧ください。

#### (1) 講演: 「長谷川テルをとおして平和を考える」



西田 千津さん

講師は西田千津さんです。西田さんは中国近現代史を専門にしておられますが、日本で長谷川テルの知名度が不当に低いと考えるようになり、テルの反戦思想を研究テーマとして取り組んでいるそうです。興味深い話をしていただけると

#### 田熊 健二 (KEK70 実行委員長)

思います。大阪と奈良に長谷川テル顕彰の会があり、前者はテルの著作を集め、著作集を作ろうと活動していますし、後者は奈良の般若寺にテルの顕彰碑を建てる計画を進めています。すでに日本語・中国語・エスペラント3言語の説明文も決まり、碑建立の募金活動を始めています。

#### (2) 野田淳子・中西史子 ジョイントコンサート

関西大会によく出演してくださっているシンガーソングライターの野田さんと、日本人唯一のプロのヤトガ(モンゴル箏)奏者の中西さんが共演する異色のコンサートです。どんなコンサートになるのか楽しみです。ヤトガがどんな形の楽器でどんな音色か聴いてみたい方は、「ヤトガ 中西史子 YouTube」を検索、



野田 淳子さん



中西 史子さん

または、短縮 URL <https://onl.bz/6wryH7d> で。

### (3) 公開入門講座

一般市民向けの入門講座です。

#### 大会前遠足 大阪歴史博物館 難波宮跡

難波宮(なにわのみや)遺跡見学を行う予定でしたが、現在コロナ禍のため、中止になっています。大阪歴史博物館(歴博)はこの遺跡の敷地内に建ち、地下に難波宮の遺跡があります。最上階の10階から7階までが常設展示場で、10階は古代、9階は中世・近世、8階は「歴史を掘る」、7階は近代・現代です。これを見学すれば、大阪の歴史が概観できます。古代エリアには奈良時代の難波宮の大極殿を原寸大に復元した空間があります。前期、後期の難波宮の模型もあります。8階の「歴史を掘る」エリアには原寸大に再現した発掘現場で、調査方法や遺構・遺物の見かたを学ぶことができます。コロナ禍に伴い、ハンズオン(体験型展示)などは中止されています。そして地下には飛鳥時代、前期難波宮である難波長柄豊碕宮(なにわのながらのとよさきのみや)の遺跡があり、発掘調査ではたくさんの倉庫跡や水利施設などが見つかっていますが、そのほとんどは再び埋め戻して保存するとともに、一部は掘り出したままの状態で展示されています。しかし、冒頭述べたようにここは現在は見学が中止されています。遺構見学が再開されていれば、見学を優先します。歴博のすぐ近くに難波宮下層遺跡である古墳時代の法円坂遺跡の倉庫群の1つが復元されています。歴博から道路を



大阪歴史博物館と法円坂遺跡の復元倉庫

挟んで、南東の難波宮跡公園に大極殿の基壇があります。ここは自由に散策できます。申込書には参加希望欄を設け、希望者に開催の有無、集合場所などをお知らせします。

参加費は当日集めます。

#### 大会記念品

今回は本ではなく、野田淳子さんがエスペラント

で歌う歌10曲を収録したCDです。曲目については、Informilo、ホームページをご覧ください。

#### Gaja Vespero (楽しい夕べ)

腕自慢、のど自慢、隠し芸、など参加の皆さんに披露していただく番組です。今回は舞台の上で演じていただけます。どしどし名乗り出てください。すでに以下の申し込みがありました。

・狂言「九十九夜(つくもよ)」(池田エスペラント会) 毎回好評の狂言が今大会でも演じられます。

・Laga Sono (長浜エスペラント会) : 世界大会のInternacia Arta Vesperoにオーディションを勝ち抜き、過去4回出場しましたが、その中心メンバーの小野忠人さんが昨年12月逝去されました。小野さんを偲んで、思い出の歌を歌います。

・尺八演奏(浮田政治さん) : 浮田さんの吹く琴古流尺八の音色に魅せられることでしょう。

#### 分科会

分科会は、第1日、第2日両日ありますが、室数に限りがありますので、先着順とします。申込状況は、ホームページでお知らせします。現在2つの分科会が決まっています。

・作文教室 : 本誌連載「楽しい作文教室」の講師、塚本猛さんが、実演で指導してくださいませ。

・大会ミニ大学 : テーマはただいま検討中です。これは第2日に行います。

次の2つは実行委員会が行いたいと考えている分科会です。

#### ・外国人と話す会 ・エスペラント講演

コロナ禍のため、海外からエスペランティストを招待するのは難しい状況なので、日本在住者を招待し、実現したいと考えています。

#### Bankedo (懇親会)

バンケードで食事をしながら歓談することを楽しみにしていらっしゃる方も多いと思います。実行委員会としてもぜひ行いたいと考えていますが、コロナ禍の状況次第です。歯切れが悪いのですが、条件が整えば、行うということにさせていただきます。それで申込書に参加希望欄を設け、希望者には開催の有無を個別にお知らせします。

コロナ禍での大会であるため、現時点では確定的な企画ができない状況ですが、有意義な大会になるよう頑張っています。みなさんのご参加をお待ちしています。



①地球は太陽の惑星で衛星を持っている。

【訳例 1】 La Tero estas planedo de la Suno kaj havas sateliton. (CA, Ivajo, Eiko)

【訳例 2】 Terglobo estas la planedo de suno, kaj havas sateliton. (Celejo) 解説

【訳例 3】 La terglobo estas la planedo de la suno kaj havas satelitojn. (ikona) 解説

地球には *teroj* や *tergloboj*、太陽は *suno*、惑星は *planedo*、衛星は *satelito* が使えます。*teroj* や *suno* は一般的に普通名詞ですが、天文学的には固有名詞です。固有名詞の場合は語頭の 1 文字を大文字にすることが多いのですが必須ではありません。本来の固有名詞には定冠詞 *la* を付けません。

訳例 1 は素直な表現だと思います。*la Tero*、*la Suno* と *la* を付加するのは、本来は普通名詞である *teroj*、*suno* を固有名詞として使うためでしょう。

訳例 2 は *planedo*(惑星) が強調される感じです。地球は太陽の惑星の一つですから *la* は不要だと思います。訳例 3 は *la* が多いのと *satelito* (衛星) の複数形が気になります。人工衛星は 1 万 2 千以上ありますが地球の自然な衛星は月だけです。

②月という衛星は地球を回り地球は太陽を回る。

【訳例 1】 La satelito nomata Luno rondiras ĉirkaŭ la Tero kaj la Tero ĉirkaŭ la suno. (Ivajo)

【訳例 2】 La satelito, nomata luno, ĉirkaŭflugas terglobon, kaj terglobo ĉirkaŭflugas sunon. (Celejo) 解説

【訳例 3】 La satelito, kies nomo estas la Luno, rondiras ĉirkaŭ la Tero kaj la Tero rondiras ĉirkaŭ la Suno. (Haveno) 解説

月は *luno*、「～をまわる」は *rondiri* (巡回する) や *ĉirkaŭiri ion* (～の周りを回る) が使えます。*turniĝi* (回る)、*rotacii* (回転する) は自転です。

訳例 1 は良い表現だと思います。*kaj* の後の文で *suno* は表記ミスですが、前の文と同じ動詞を繰り返すことなくすっきり表現しています。

訳例 2 は *ĉirkaŭflugi ion* (～の周りを飛ぶ) を使っていますが、これも *kaj* の後の文では省略できると思います。なお *kaj* の後の *terglobo* は既出な

ので *la* を付ける方がいいでしょう。

訳例 3 ですが、普通 *suno* や *luno* には *la* を付加して固有名詞扱います。でもここでは *la Luno* が名前になってしまうので *la* を付けない方がいいと思います。固有名詞と言えば *majo* (5 月) など月の名前も固有名詞です。語頭を大文字にするのが推奨ですが、普通名詞の *lundo* (月曜日) 同様に小文字だけで表記することが多そうです。

③私たちが暮らす地球は支え無しで空間を漂う。

【訳例 1】 La Tero, sur kiu ni vivas, ŝvebas en la spaco sen apogilo. (Haveno)

【訳例 2】 La Tero, sur kiu ni vivas, apogante sin sur nenio ŝvebas en spaco. (Ivajo)

【訳例 3】 La Tero, kie ni vivas, ŝvebas en aero kun neniu apogo. (CA) 解説

「暮らす」は *vivi*、「支える」は *apogi ion ie* (持たせかける)、「漂う」には *ŝvebi* (漂う) が考えられます。*flosi* (浮かぶ) は水上にある場合で、前置詞は *sur* や *ĉe* などを使います。

訳例 1 は「支え無しで」を *sen apogilo* (支え無しに) で、訳例 2 は *apogante sin sur nenio* (拠り所無く)、訳例 3 は *kun neniu apogo* (いかなる支持もなく) で表現しています。

訳例 3 は「空間」を *en aero* (空中で) と表現しています。*aero* は空気の意味ですから通常の飛行の場合にはいいのですが、*kosmospaco* (宇宙空間) には空気が無いので少し変な感じがします。

④それは凍てつく真空と灼熱のマグマの間の奇跡。

【訳例 1】 Tio estas miraklo inter frosta vakuo kaj arda magmo. (Ivajo, Eiko)

【訳例 2】 Tio estas miraklo, kiu okazas inter vakuo frostiga kaj magmo bruliga. (ikona)

【訳例 3】 Tio estas miraklo inter al frostiĝa vakuo kaj arda magmo. (Haveno) 解説

「凍てつく」は *ĉe* おりつく という意味なので *frosta* (氷のように冷たい) や *frostigi ion* (～を凍らせる) が考えられます。「灼熱の」は *arda* (白熱の) が使えるでしょう。

訳例 3 は *al frostiĝa* (凍結した) での表現です。これは冷気によって固まった状態だと思いますが、真空ですし、訳例 2 のように *frostiga* を使う「冷気で凍らせる」という表現の方がいいと思います。

## Utopio de Ugviso

rerakontis SIMATANI Takesi

Antaŭ multaj jaroj en arbaro arbohakisto perdis vojon. Li marŝis kaj marŝis, sed ne revenis al konata vojo.

En montara vojo li ne sciis kion fari. Tiam li aŭdis ugvison en vepro. Tie li trovis grandiozan domon.

“Mi tute ne sciis, ke tia bela domo staras en montaro. Mi petu azilon por unu nokto.”

La viro staris antaŭ la domo kaj aperis bela virino.

“Certe ĉagrenas vin devojiĝo en montaro. Bonvolu tranokti ĉe mi, kvankam mi vivas sola kaj ne povos bone regali vin.”

Li pasigis la nokton ĉe ŝi. En la mateno la virino diris al li.

“Delonge mi havas aferon ekstere. Sed mi ne povis eliri el la domo, kiun mi devas prizorgi. Ĉu vi povas hodiaŭ resti en mia domo? Morgaŭ mi kondukos vin al konvena vojo por malsupreniri de la monto.”

La viro konsentis kaj la virino avertis.

“En la domo estas kvar salonoj. Vi povas enrigardi tri salonojn. Sed neniam malfermu la kvaran ĉambron.”

La virino foriris kaj dum kelka tempo la viro sidis kviete. Poste pro scivolemo li malfermis la unuan salanon.

Tie li vidis vastegan akvumitan kampon. Multaj en vico transplantadis rizherbojn. Blanka neĝo restis sur malproksimaj montoj.

La viro reiris al sia ĉambro kaj sidis por iom da tempo. Baldaŭ denove pro scivolemo li malfermis la duan salanon.

La rizkampoj estis tute verda de kreskintaj riz-herboj. Sur la montoj ne restis neĝo. Ĉe blua ĉielo estis kumulonimbuso.

Seninterrompe li malfermis la trian salanon. Tie balanciĝis oraj spikoj de rizherboj. En foraj kampoj homoj laboris por falĉi rizajn garbojn.

2022.05

## ウグイスの里



島谷 剛 再話

昔々、山に入った木こりが道に迷いました。歩いても、歩いても知っている道に戻れません。

山道で途方にくれていると、藪の中でウグイスが鳴きました。ふと見ると、大きな屋敷があります。

「この山の中に、こんな立派なお屋敷があるとは知らなかった。今晚だけでも泊めていただこう」

男が屋敷の前に立つと、美しい女が顔を出しました。

「山で迷ってお困りでしょう。独り住まいでたいしたご馳走もできませんが、遠慮なくお泊まりください」

その夜男は屋敷に泊まり、翌朝、女は言いました。

「わたくしは、前々から出かける用事がありましたが、屋敷が心配で留守にできませんでした。もしお差し支えなければ、今日一日、留守番をお願いできないでしょうか。明日になれば、山を下りる道もご案内できます」

男が承諾すると、女は言いました。

「この屋敷には、四つの座敷がありますが、三つまでは開けていただいて構いません。でも、最後の四つ目の座敷は決して開けないでください」

女が出かけてしばらくの間、男はじっと座っていましたが、やがて気になって一つ目の座敷を開けてみました。

そこには見渡す限り水田がひろがっていました。たくさんの人が一列にならんで、田植えをしています。遠くの山の上には、白い雪が残っていました。

男は自分の部屋に戻ってしばらく座っていましたが、やがてまた気になって、二つ目の座敷を開けてみました。

水田の稲は青々と育っていました。山には雪はなく、青い空に入道雲がわいていました。

男は続けて三つ目の座敷を開けました。黄金色の稲穂が揺れています。遠くの田では、稲刈りの人々が働いています。

Li ne rajtas malfermi la kvaran salonon. La viro sidis senmova kaj atendis revenon de la virino.

Ĉu vintra kampo troviĝas en la kvara salono? Premis lin scivolemo. Finfine la arbohakisto ne povis elteni. Nur por ekrigardo li deŝovis la pordon de la kvara salono.

Tie ne estis rizkampo, sed en montaro. En vepro sidis ugviso, kiu rimarkis la viron. La birdo kantis malĝoje kaj forflugis.

La arbohakisto trovis sin en montara vojo. Nenie estis la domo. Li jam ne sciis la vojon por reiri hejmen.

四つ目の座敷は開けられません。男は女が帰ってくるのをじっと待っていました。

四つ目の座敷の中は、冬の水田でしょうか。気になって仕方ありません。木こりはとうとう我慢できなくなりました。少しだけならいいじゃないか、そう思って襖を少しずらしてのぞいてみました。

そこは水田ではありませんでした。山の中です。藪の中にウグイスがいます。男に気がついたのか、ウグイスは悲しそうに一声鳴いて飛び去りました。

気がつくと、木こりは元の山の中に立っていました。屋敷はどこにもありません。帰り道もわからなくなっていました。

## Al vi eksteren (長崎民謡でんでりゅうば)

popolkanto de Nagasaki; trad. SIMATANI Takesi



Al vieks - te-ren i-rus mi vo-lon-te Sed mi ne  
でん 出 ら りゅう ば 出 て くる ばってん でん 出 ら

6  
i - rus vin ren - kon - te Ĉar mi ne po - vas,  
れん けん 出 て 来 ん けん こん 来 ら れん けん

11  
al vi mi ne i - ras, al vi!  
来 ら れ ら れん けん 来 ん 来 ん

## Al vi eksteren (長崎民謡 でんでりゅうば)

popolkanto de Nagasaki; trad. SIMATANI Takesi



でん出らりゅうば 出てくるばってん  
でん出られんけん 出て来んけん  
こん来られんけん 来られられんけん来ん来ん

Al vi eksteren irus mi volonte  
Sed mi ne irus vin renkonte  
Ĉar mi ne povas, al vi mi ne iras, al vi!

## 45 La Nimfo de la Ponto – Fasi Fime – (3)

源氏物語 第45帖 橋姫 はしひめ

\* Kavoru estas 20-jara  
eljapanigis belmonto

“Ankaŭ vi skribu.”

Laŭ la diro de la patro la meza princino skribis en pli infaneca maniero, kun longedaŭra klopodo.

Se ne kovrus min la patro  
Per flugiloj kun la larmoj  
Destinita estus povre  
Mi ne-elkoviĝa ovo

Iliaj vestoj estis malnoviĝintaj, kaj neniuj ĉambelanino servis apud ili. Ĉiuj vivis en soleco sen celo. Kial la patro ne prenis ilin mizere kompatindaj, kiuj estis ĉarmaj respektive? Li tenis la sutron en unu mano aŭ por reciti la sutron, aŭ solfeĝi por trejni ilin. La ankoraŭ junaj filinoj, la granda ludis la bivon kaj la meza la dektri-kordan kotoon, ĉiam harmonie kun la patro. Tiu koncerteto sonis ne malbele sed eĉ beltone.

### 4. la tragedia duonvivo de la Oka Princo

La Oka Princo estis postlasita de la patra Mikado kaj la patrino *nioĝo* en lia tre juna tempo. Li ne havis potencon kuratoron kaj ne povis progresigi profundan lernadon. Kaj tial, kiel li povis scii pri lerta rimedo por gajni politikan potencon aŭ bonan karieron en la socio? En la mikada familio li estis precipe nobla kaj grandanima kvazaŭ virino eĉ mirinde, senkoncerne al la politiko. Certe li heredis trezorojn de malnova tempo, heredaĵojn de la patrino avo la Ministro kaj multe da aliaj, sed preskaŭ ĉiom konsumis kaj perdis iam, kaj nur fascinaj mebloj restis fierante sian pompon. Neniu vizitis por saluti, neniuj stariĝis ĉe lia flanko. Li plenkreskis entuziame amuzante senutilan ludon, invitante majstrajn muzikistojn de la Muzika Oficejo. Pro tio li mem fariĝis talenta pri la

「若君と書きたまへ」

とあれば、いますこし幼げに、久しく書き出でたまへり。

泣く泣くも  
はねうち着する君なくは  
われぞ巢守りに  
なるべかりける

御衣(ぞ)どもなど菱(な)えばみて、御前(おまへ)にまた人もなく、いとさびしくつれづれげなるに、さまざまいとらうたげにてもものしたまふをあはれに心苦しう、いかが思さざらん。経を片手に持(も)たまひて、かつ読みつつ唱歌(さうが)をしたまふ。姫君に琵琶(びは)、若君に箏(さう)の御琴(こと)を。まだ幼けれど、常に合はせつつ習ひたまへば、聞きにくくもあらで、いとをかしく聞こゆ。

父帝にも女御にも、とく後(おく)れきこえたまひて、はかばかしき御後見のとりたてたるおはせざりければ、才(ざえ)など深くもえ習ひたまはず。まいて、世の中に住みつ御心おきてはいかでかは知りたまはむ。高き人と聞こゆる中にも、あさましうあてにおほどかなる、女のやうにおはすれば、古き世の御宝物(たからもの)、祖父(おほぢ)大臣(おとど)の御処分(そうぶん)、何やかやと尽きすまじかりけれど、行く方(へ)もなくはかなく失(う)せはてて、御調度などばかりなん、わざとうるはしくて多かりける。参りとぶらひきこえ、心寄せたてまつる人もなし。つれづれなるままに、雅楽寮(うたづかさ)の物の師どもなどやうのすぐれたるを召し寄せつつ、はかなき遊びに心を入れて、生ひ出でたまへれば、その方はいとをかしようすぐれたまへり。

muziko.

La Oka Princo estis la pli juna frato de *Genĝi*. Kiam regis la Mikado *Suzaku*, *Rejsejvin* estis lia Kronprinco. La Grandsinjorino la patrino de *Suzaku* komplotis, ke la Oka Princino estu la nova Kronprinco, forte antaŭenpuŝante lin dum sia prospera potenca tempo eĉ tumulte. Pro tiu okazo malproksimiĝis lia rilato kun *Genĝi*. Nun en prospera tempo de la idoj de *Genĝi* li ne povis intime rilati kun ili. Ankaŭ en ĉi tiuj kelkaj jaroj li fariĝis kvazaŭmonaĥo kaj forlasis ĉiun esperon, kredante sian finon.

### 5. *transloĝiĝo al Udi*

Dum tiu vivado lia palaco longe loĝita bruliĝis for. Pro atako de pli da malfeliĉo li desapontiĝis sen espero, kaj ne trovis decan domon por loĝi en la Urbo. Li ankaŭ posedis ĉarman montovilaon en la loko nomata *Udi* kaj transiris tien. Kaptis lin malĝojo adiaŭi la kutimiĝintan urban vivon, kvankam li lasis la socion for de si.

Fiŝkapta plektobarilo ŝajnis esti metita proksime. Nova loĝejo situis apud tiu brua rivero, kio ĝenis la kvietan budhoservan vivon. Sed kiel li povos solvi ĝin? Li serĉis konsolajn florojn, ruĝajn foliojn kaj la riverfluo por kvietigi sin, kio kondukis lin en pli profundan meditadon. En tia vivado en kampo kaj monto izolita de la socio li neniam havis horon ne deziri, se la edzino estus viva kune.

Jam fariĝis brule fumo  
La palaco kaj vi kara  
Kial restas nur mi sola  
En la mondo sen brakumo?  
Li sopiris al ili sen efiko por vivi.

(daŭrigota)

源氏の大殿(おとど)の御弟(おとうと)におはせしを、冷泉院(れいずいゐん)の春宮(とうぐう)におはしましし時、朱雀院(すざくゐん)の太后(おほきさき)の、横さまに思しかまへて、この宮を世の中に立ち継ぎたまふべく、わが御時、もてかしづきたてまつりたまひける騒ぎに、あいなく、あなたさまの御伸らひにはさし放たれたまひにければ、いよいよかの御次々になりはてぬる世にて、えまじらひたまはず。また、この年ごろ、かかる聖(ひじり)になりはてて、今は限りとよろづを思し棄てたり。

かかるほどに、住みたまふ宮焼けにけり。いとどしき世に、あさましうあへなくて、移ろひ住みたまふべき所の、よろしきもなかりければ、宇治(うち)といふ所によしある山里持(も)たまへりけるに渡りたまふ。思ひ棄てたまへる世なれども、今はと住み離れなんをあはれに思さる。

網代(あじろ)のけはひ近く、耳かしがましき川のわたりにて、静かなる思ひにかなはぬ方(かた)もあれど、いかがはせむ。花、紅葉、水の流れにも、心をやるたよりに寄せて、いとどしくながめたまふより外(ほか)のことなし。かく絶え籠(こも)りぬる野山の末にも、昔の人ものしたまはましかば、と思ひきこえたまはぬをりなかりけり。

見し人も  
宿もけぶりになりにしを  
なにとてわが身  
消え残りけん  
生けるかひなくぞ思しこがるや。

(つづく)

## Mi estas pianagordisto

Tadaŝi JAMADA (Aiĉi)

ピアノの調律と修理を天職としてやってきました。一般的になじみの薄い職業なので、いくつかのエピソードとともにその仕事を紹介します。

Mi estas pian-agordisto. Precize dirite “estis”, ĉar nun mi ne bone aŭdas sonon de piano, simile al duonsurdulo. Kio estas agordisto? Tiu, kiu profesie agordas pianon aŭ fortepianon.

Vi konas la vorton: agordu. Vi iam kantas okaze de la fermo de Japana Esperanto-Kongreso la kanton de Antoni Grabowski: “Agordu la brustojn, ho, nia fratar!”

Pianisto antaŭ sia koncerto bezonas agordon de la instrumento sur la scenejo (kajo) de la muzikhalo. Ordinare ludantoj de gitaro, klavicensano aŭ kotoo (琴) agordas siajn muzikilojn per sia mano, sed ludanto de piano, t.e. pianisto bezonas agordiston por prepari la muzikilon antaŭ sia koncerto, ĉar piano havas tro multajn kordojn por muzikisto mem. Kaj mekaniko estas konfuza por profesiulo.

Mia patro ankaŭ estis pianagordisto kaj instruis la metion al junaj metilernantoj en lernejo de Tokio. Li iam malkontente konfesis, ke ĝenaj estas tiuj junuloj, kiuj ne okupiĝas je trejnado de pianagordado, sed okupas siajn horojn nur por ludi muzikon. Se li lertus ludi muzikon, lia metio ne progresas. Alta metiisto de piano ne ĝuu ludi.

Agordisto servas pianiston, do devas antaŭscii kaj koni, kiun muzikon li ludos ĉi-vespere, ĉu li koncertos sola, aŭ kun alia muzikilo, aŭ kun kantisto; ĉu estos blovinstrumento aŭ kordinstrumento. Estas bezonate ne nur tonon agordi, sed ankaŭ kontroli batmekanikon malantaŭ la klavoj blankaj kaj nigraj por lia movo de fingroj kaj brakoj.

Iam vilaĝaj junuloj planis ĵaz-koncerton de piano. Kiam ili sukcesis kontakti kun ĵazisto

el Usono, decidis prepari koncertejon en la loka komunuma salono kaj portis grandan fortepianon. Kaj ĝi staris en la salono. Oni vokis min laŭ tago kaj horo agordi kaj reguli batmekanikon por la koncerto de ĵaz-piano. Mia implika laboro komenciĝis kaj finlaborinte mi vidis la ĵaziston kun favora mieno. Mi transdonis la pianon kaj seĝon al li. Mia parolo estis en la japana. Provludinte kelkminutojn, li estis kontenta. Li donis al mi dankan manon, kun la vortoj en la angla: “la koncerto estu sukcesa de mi kaj vi ambaŭ”. Mi ne diras: “Thank you”, sed daurigis en la japana. Tiam proksima junulo, kiu aranĝis la seĝojn por la koncerto, venis kaj staris inter ni por interpreti nin diri pri muziko aŭ la instrumento.

Mi ne estas nur agordisto, sed ankaŭ mi estas riparisto de piano. Venas al mi iu centjara malnova piano laborĉambren. Unue mi malkonstruas prudente. Piano estas konstruita per la manoj de iamaj metiistoj. Tial nuntempa riparisto trovas interne de la antikva muzikilo sagacan kaj metian laboron de la konstruistoj. Tiam mi pensas, ke mi interparolas kun saĝaj metiistoj tiamaj malnovaj kaj fremdaj. Mi demandas, kaj li respondas. Mi proponas iamaniere ripari uzitajn partojn, li konsentas kaj petas revivigu la mekanikon kaj renasku pli belan sonon. Ne renovigu, sed revivigu. Sen vortoj ni komuniĝas en la instrumento mem.

Kiam mi vizitis esperantiston en Estonio, mi flugis kun kesto de iloj por agordi pianon. Ŝi volonte akceptis mian peton viziti iun lokon por agordi pianon. Iun tagon ŝia amikino invitis nin al alta lernejo kie laboras ŝia filino kiel instruisto. Estis impreso. Mi ne forgesas tiun tagon. En la granda halo de la lernejo ni trovis grandiozan fortepianon, kies nomo estis “Estonia Piano”. La nomo de la respubliko Estonio nomiĝas sur la piano. Post la finlaboro la instruistino gvidis nin tra la tuta lernejo. La lernoĉambro de la angla estis nova, ĉar popolo ŝanĝis neceson de la rusa al la angla post 1991, dissolvo de Sovetunio.





La 109a Japana Esperanto-Kongreso  
en Hachioji, Tokio  
La 23a, 24a, 25a de septembro 2022  
**第 109 回**  
**日本エスペラント大会**  
**(東京都 八王子市)**

**日時:** 2022年9月23日(金・祝日 秋分の日), 24日(土), 25日(日)

**会場:** 八王子学園都市センター (JR 八王子駅北口徒歩3分)  
八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル 11F 電話 042-646-5611

**主催:** (一財)日本エスペラント協会, 日本エスペラント大会八王子委員会

**後援:** (申請予定) 東京都、八王子市、八王子市教育委員会、  
独立行政法人国際交流基金、日本ユネスコ国内委員会、  
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、一般社団法人日本ペンクラブ、  
公益社団法人八王子観光コンベンション協会

**形式:** 会場とネット経由のハイブリッド形式

**大会テーマ:** **Nova erao de komunikado kaj Esperanto post kronvirova pandemio**  
コロナ禍後の新しいコミュニケーション時代とエスペラント

新型コロナ流行の下、エスペラント界でも例会や大会の開催方法にリモートが取り入れられ、このコミュニケーション方法の変化はエスペラント運動の新たな展開を予感させます。本大会自体、東京都八王子市の会場とネットをつなぐハイブリッド形式で行います。今後のエスペラント運動を考える契機にできればと思います。八王子市は桑都(そうと)の名を持ち、養蚕や機織りが盛んな中、明治時代に、絹製品の産地と輸出港横浜を結ぶ交通の要所として栄え、自由民権運動も盛んでした。民俗芸能の車人形も伝わっています。現在、八王子市は、21大学に約10万人が学ぶ全国有数の学園都市でもあります。当市での大会開催は初めてです。大会のシンボルマークは大室博さんのデザインで、市内の高尾山薬王院で有名な天狗(てんぐ)です。どうぞ、ご参集ください。

第109回日本エスペラント大会実行委員長 犬丸文雄

**〔連絡先〕** 日本エスペラント大会事務局

162-0042 東京都新宿区早稲田12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内

TEL:03-3203-4581 FAX:03-3203-4582 ウェブページ: <https://jek.jei.or.jp/>

(お問い合わせ・各種申し込みには、ウェブページ内のフォームが利用できます。)

## [プログラム紹介]

**9月23日(金・祝)** 受付 10:00～ ギャラリーホール (11階)

公開入門講座 10:00～12:00

開会式 13:00～13:50

公開講演 14:00～15:30 「コロナ禍後の新しいコミュニケーション時代とエスペラント」

講師：フェデリコ・ゴッボさん (アムステルダム大学教授)

通訳・解説：木村護郎クリストフさん (上智大学教授)

野田淳子さんコンサート 16:10～17:00

エスペラント訳された「庭の千草」「四季の歌」「死んだ男の残したものは」などの名曲を歌います。

ほか各種番組・分科会、晚餐会 (予定)

**9月24日(土)**

講演 「なぜ多言語か：複数のことばへの愉しみとエスペラント」

野間秀樹さん (明治学院大学客員教授)

講演 「高杉一郎とエスペラント」

太田哲男さん (桜美林大学名誉教授)

芸能の夕べ 地元の伝統芸能「八王子車人形」を紹介します。

ほか各種番組・分科会

**9月25日(日)**

各種番組・分科会

閉会式 14:10～15:00

大会後遠足 八王子市内の観光地・高尾山への日帰りコースと、八ヶ岳エスペラント館 (山梨県北杜市) への1泊コースを計画中です。詳細が決まり次第、大会ホームページ等でご案内します。

## [分科会・交流ブースの募集]

分科会開催・交流スペースへのブース出店を、1枠1,000円で受け付けます。

詳しくは、大会ウェブページ内の申し込み要項をご覧ください。

申し込み締切は、分科会・ブースとも6月30日 (木) です。

## [JR八王子駅へのアクセス]

(東京方面から) JR中央線特別快速 東京駅から約50分・新宿駅から約40分

(新宿から京王線特急で京王八王子駅まで約45分・会場まで徒歩7分)

(横浜方面から) JR横浜線快速 横浜駅から約50分・新横浜駅から約40分

(羽田空港から) 京浜急行快特で品川まで、JR品川・新宿経由で約100分

または リムジンバス (1日数本) で約100分

## ◆大会参加費など

(単位は円)

参加区分			参加費		参加形態		記念品	備考
			6月末	7月～	現地	オンライン		
1A	一般	現地	5,000	6,000	○	○	○	
2A	初回参加者	現地	3,500	4,500	○	○	○	「運動年鑑」記載団体の会員
3A	障害者	現地	3,000	4,000	○	○	○	
4A	家族(同居者)	現地	2,500	3,500	○	○		
5A	青少年A(18～35歳)	現地	2,500	3,500	○	○	○	1987/4/2～2004/4/1生まれ
1B	一般	オンライン	3,000	4,000		○	○	
2B	初回参加者	オンライン	2,000	3,000		○	○	「運動年鑑」記載団体の会員
3B	障害者	オンライン	2,000	3,000		○	○	
4B	家族(同居者)	オンライン	2,000	3,000		○		
5B	青少年A(18～35歳)	オンライン	2,000	3,000		○	○	1987/4/2～2004/4/1生まれ
6	青少年B(17歳以下)		1,000	2,000	○	○	○	2004/4/2以降生まれ
7	青少年C(17歳以下)		無料		○	○		2004/4/2以降生まれ
8	来日旅行者		2,000		○	○	○	6・7も選択可
9	海外からの参加		無料			○		
10	不在参加		3,000				○	

記念写真：1,000 ※晩餐会・大会後遠足については大会ウェブサイト等でご案内します。

## ●JEI学力検定試験 1級 6,000, 2級 4,500, 3級 3,000, 4級 1,500

※大会参加費は、主催者の責に帰すべき事由による開催中止の場合を除き、原則として払い戻しはいたしません。記念写真等の費用は、8月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

※「不在参加」は、オンラインでの参加もできません。記念品のみ受け取れます。

※記念品は会場で配布しますが、来場されない方には郵送（国内に限る）いたします。

## 〔大会記念品〕

堀泰雄編『戦前のE-isto島崎敏一さんの海外文通絵葉書（仮）』

冊子版・PDFファイルのダウンロード版を提供予定

## 〔宿泊〕

八王子駅周辺には多くのホテルがあります。大会側でも宿泊の取次ぎを行います。

詳しくは、大会ウェブページ <https://jek.jei.or.jp/> をご覧ください。このウェブページのフォームからお申し込みもできます。

(第1次申し込み締切) 6月30日(木)

## ◆申し込み方法◆

参加費ほかを下記の口座にお支払いください。(上記の宿泊費を除く)

※お支払い金額の内訳、ローマ字のお名前、連絡先をかならずお知らせください。

ゆうちょ銀行振替口座 00100-4-400372 日本エスペラント大会

[ゆうちょ銀行以外の金融機関から送金する場合]

ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座 0400372 日本エスペラント大会

入金確認後1～3週間で、メールまたは葉書で申込確認書(Konfirmilo)をお送りします。

# La 109a Japana Esperanto-Kongreso en Hachioji, Tokio

**Dato:** la 23a, 24a, 25a de septembro 2022

[Hachioji : legu haĉiooĵi]

**Kongresejo:** Hachioji Gakuentoshi Center

(Komunuma Centro de Universitatoj en Urbo Hachioji).

Necesas 3 minutoj piede de Stacidomo JR Hachioji.

**Kongresa Temo:** " *Nova erao de komunikado kaj Esperanto post kronviroza pandemio* "

La Japana Esperanto-Kongreso okazos kaj rete kaj surloke en Hachioji, Tokio. La limoj kaŭzigitaj de la epidemio de la nova kronviruso estigas, ke reta metodo estas adoptita en la manieroj de laborado kaj lernado pro la disvolviĝo de informa-komunika teknologio, kaj la komunika metodo ŝanĝiĝas. En la esperantujo ŝanĝiĝas la metodoj de regulaj kunvenoj kaj studsesioj, kaj ankaŭ la metodoj okazigi japanajn kaj mondajn kongresojn.

Ni volas pripensi la efikon de ŝanĝoj en komunikaj metodoj post kronviroza pandemio sur la Esperanto-movado, vivmaniero kaj internacia interŝanĝo.

**Ĉefaj programeroj (provizoraj)**

**La 23a de septembro (vendrede festotago)**

Akceptejo: ekde 10:00,

Inaŭguro (ekde 13:00), Publika prelego (ekde 14:00), Fakaj kunsidoj

Vespere: Komuna Bankedo

**La 24a de septembro (sabate)**

Fakaj kunsidoj, Prelegoj, Vespere: Tradicia puŝtetraĵo, ktp.

**La 25a de septembro (dimanĉe)**

Fakaj kunsidoj, Solena fermo (ekde 14:00), Postkongresaj ekskursoj (planataj)

**Memoraĵo:** libro de Hori Jasuo "Bildkartoj de Ŝimazaki Toŝikazu antaŭ la Mondomilito"  
kaj papere, kaj pdf-e.

**Kotizoj:** Vojaĝanto al Japanio el eksterlando 2 000 enoj

Reta partopreno el eksterlando senpage (sen memoraĵo)

Loĝanto plenaĝula en Japanio

surloka: 5 000 enoj / reta: 3 000 enoj (ĝis la fino de junio 2022)

surloka: 6 000 enoj / reta: 4 000 enoj (depost la komenco de julio 2022)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, unuafojulo, junulo, morala partopreno, ktp) demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu informon malsupran piednotan).

**Loĝado:** Petu rete al JEI. Prezertota estas rezervita loĝejo aŭ listo de proksimaj hoteloj.

**Foto:** 1 000 enoj

---

Pri detaloj havu kontakton kun Japana Esperanto-Instituto

/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582

retejo: <https://jek.jei.or.jp/>

\*Vi povas sendi mesaĝojn per demando-formularo en la retejo.

## Rakontetoj el Hamburgo

### - mediprotektado kaj "Friday for future"-

Mariko AOSHIMA (Germanio)



En 2021 trafis inter Belgio kaj okcidenta parto de Germanio pluvego kaj sinsekviganta inundo en la regionoj tie. (vidu la foton supre) La keloj estis plenaj de ŝlimo-akvo kaj la varoj estis ne plu uzablaj.

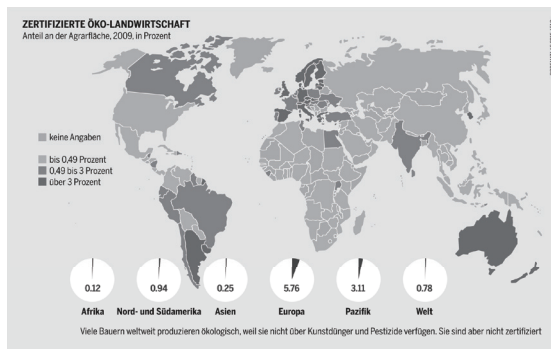
Mortis kaj vundiĝis la loĝantoj. Ĉiam pli kaj pli oftas grandaj naturaj katastrofoj (inundoj, arbaro-bruliĝoj, stormegoj ktp.)

Tion ni ofte vidas en la televido...Ekde 2019 manifestis studentoj kaj lernantoj surstrate ĉiuvendrede anstataŭ iri al lernejo, ke ni faru rapide ion por haltigi tervarmiĝon. Pro tio ĝi nomiĝas "Friday for future." (vendredo por estonteco). Tio estas pli malpli monda fenomeno. Mi ankaŭ partoprenis kelkfoje. Partoprenas ne nur studentoj kaj lernantoj sed ankaŭ instruistoj, sciencistoj, mediprotektantoj, gepatroj, geavoj... Kaj akompanas ĉiam laŭta muziko. Pro kronviroza pandemio ili ne plu iras surstrate sed nun virtuale. Ili organizas konferencojn kaj prelegojn de sciencistoj kaj mediprotektaj specialistoj. Tie estas prezentataj la statistikoj, kiel severaj estas la nuna situacio kaj montras la metodojn kiel redukti CO<sub>2</sub> uzante renovigeblajn energiojn kiel de suno, vento, akvo, termo-varmo, biologia gaso ktp.

Tiel oni povas atingi la normon de Pariza

Interkonsento ĝis la jaro 2050. Oni jam povas produkti sufiĉe multe da vento-energikvanto, sed ni ne uzas ĝin utile. Ni povas produkti, sed ne povas konservi aŭ transporti energion suden (Bavario). Alia problemo estas kiel produkti hidrogeno-energion ekologie???

De sun-energio aŭ vento-energio (oni nomas ĝin verda hidrogen-energio) aŭ de gaso aŭ atom-energio (nomiĝas bruna aŭ flava hidrogen-energio). Baterio de elektro-aŭtomobiloj estas ankaŭ problema. Tre malbonan punkton ricevas agrikulturo. La bovoj produktas metangason, kiu estas eĉ pli atmosfero-varmiga ol CO<sub>2</sub>. Krome ili uzas multajn venenajn kemiaĵojn kiel pesticido. Ĉi-sube montriĝas kiom multe da ekologiaj farmistoj troviĝas en la mondo. Malhelaj (Hispanio, Skandinavio, Germanio, Sudkoreio ktp.) estas pli ol 3 % kaj helaj (Usono, Mezameriko, Afriko, orienta Azio, Rusio ktp.) estas malpli ol 0,5%.



Ankaŭ havas konstruado de domoj kaj stratoj tre negativan aspekton por mediprotektado. Ĉar por produkti betonon oni bezonas multe da energio kaj produktas enorme multe da CO<sub>2</sub> kaj foruzas fajnman sablon (tio estas natura materialo de tero). Oni pripensas, ke ni recikligu betonon.

## スマホのグループ・チャットで例会を

津田 昌夫(愛知県)

4月号の「コロナ下での例会運営の一例」を読んで、私たちが行っているエスペラントの勉強会も、小規模例会のケースとして参考になるのではないかと思います。簡単に紹介します。

私たち、すなわち卓球仲間の二人の70歳前後の女性と家内、それに私の4人で、スマホのメッセージングのグループ・チャットを利用し、去年の春ごろから始めた例会です。現在は、毎週水曜日と木曜日の夜8時半からレッスンを開始し、40分ほどで終わるようにして勉強を続けています。

当日、スマホで8時半に4人に電話をかけ、4分割された画面が現れたら勉強開始です(画面には、皆、恥ずかしがり屋なので顔の代りにプロフィール写真が表示されています)。いま使っているテキストは「Ĉu vi parolas Esperante?」で、毎回1頁分ほどを学習します。まず、私が音読しながらエスペラントの訳を付け、英文法、英単語と、時には日本語の文法や造語法などと比較しながら説明し、質問を受けます。内容が分かったところで、Barbaraさん、Petroさん、Markoさん、Evaさんなどと役を決めテキストを読み合わせます。この時、読み間違いなどを正します。テキストの内容に沿って、ポーランドの風土や料理、日本語との言い回しのちがいがいなど、それぞれの気がついたことを話し合います。最後にCDで、ポーランド放送局のアナウンサーによるモデル・リーディングを聞きます。美しい、流れるようなエスペラントにほれほれしながら耳を傾けます。そして、ポーナン・ノクトンとあいさつを交わして電話を切ります。

去年の夏と秋にはスクーリングとて、八ヶ岳のエスペラント館へ出かけ対面授業を行いました。授業の後はガーヤ・ベスパーロ。ワインやビールも入り、趣味の和笛の披露があり、エスペラントの歌詞を見ながらCDを聞いたりし、楽しいカラオケ大会となって終わりました。

面白いことは、家内へのエスペラントの手ほどきが、これまで何度試みても上手くいかなかったのですが、二人の女性が加わったことで家内が積極的になったことです。私が2階、家内は1階でスマホに向かうのですが、

この齢になると、もう世界平和のためにエスペラントを、国際交流のためにエスペラントをなどと、肩肘張ったことを声高に言うよりも、ボケ防止のために、あるいは、エスペラントは何なんだ? といった、それぞれの個人の関心に従ってエスペラントを楽しめばいい、ザメンホフさんの優しさが少しでも伝われば嬉しいことだと考えるようになりました。気楽なスマホ勉強会です。それでいいのだと思っています。

## 出版情報

### 萌える若草 Arboj verdas nun

『牧野三男編纂楽譜集 萌える若草 Arboj verdas nun』が出版された。

牧野さんが教師として教えた歌や、エスペラントの行事で指導してきた歌など、200曲以上が収められている。書名のとおり全曲が楽譜付きで、エスペラントの歌詞が添えられている歌も多数ある。上山政夫作詞、小西岳作曲の「由比忠之進追悼歌」、堀泰雄作詞、山田哲夫作曲の「唐丹の海から世界へ」など、エスペラント運動の中で生まれた歌も。La EsperoとLa Tagiĝoには、ピアノ譜も掲載されている。

300ページを超える本で、収録曲は200以上。価格は2000円。KLEGでとりあつかっている。



## 初心者のための

### 語尾なし単語の使い方 (最終回)

相川 節子

#### 数詞

エスペラントの単語を覚える方法は人によっていろいろだと思いますが、わたしは「たくさん読み、たくさん聞く」のがいちばんだと思っています。たとえば "mi" や "estas" を忘れる人はいない。なぜ忘れないかということ、何度も耳にしたり目にしたりしているし、自分でもよく使う単語だからです。つまり、何度も使うことで単語は脳に定着します。英語のように綴りが不規則だったり、フランス語やドイツ語のように単語の性別も覚える必要がある言語なら、単語カードを繰り返して覚えるという努力も必要になりますが、エスペラントはそこまでなくても身に付くと思うのです。もちろん単語カードを使うのも悪くはないのですが、とにかく本をたくさん読み、音声教材をたくさん聞いていれば、重要な単語や表現ほど触れる頻度が高いので、よく覚えられます。

ただし、こんなふうに「使いながら身につける」だけでは覚えるのが難しい単語もあります。月と曜日、それに数詞です。エスペラントを10年勉強していても *junio* と *julio* を取り違えるとか、*dimanĉo* はすぐ思い出せるのに *mardo* は出てこないとか、*kvar* と *kvin* をよく混同するとかいう経験のある人は、少なからずおられるのでは？

私自身の経験でも、月と曜日と数詞、特に数詞が覚えられませんでした。そこで、道を歩いているときに自動車とすれちがったら、その自動車の番号をエスペラントで声に出して言う、という練習を続けました。

前置きが長くなりましたが、今回は数詞、特に文章の中で桁をどう扱うかを説明します。

*Zamenhof naskiĝis en la jaro mil okcent kvindek naŭ.*

(ザメンホフは1859年に生まれた)

*okcent*、*kvindek*、*naŭ* がスペースで区切られているのにご注意ください。つまり、桁で区切ります。たとえば「15」は *dekkvin* ではなく、*dek kvin* とスペースを入れます。

数詞に形容詞語尾の *-a* を付けると「何番目」を

表す序数詞になるのはご存じのとおりです。序数の場合、たとえば「第15代将軍」は *la dekkvina ŝoguno* と書きます。*dekkvina* でひとつの形容詞だからです。もちろん *15a* または *15-a ŝoguno* と書いても差し支えありませんが、声に出して読むときは、*dekkvina* がひとつの単語であることを意識して読んでください。

千以上の桁は、少しややこしくなります。*Plena Ilustrita Vortaro* 2002年版の見出し語は16780語ですが、アルファベットで書くときは次のどちらが正しいでしょう。

(1) *dek sesmil sepcent okdek vortoj*

(2) *dek ses mil sepcent okdek vortoj*

正解は(2)です。*dek*、*cent* はそれぞれ十の位と百の位を表しますが、*mil* は千・万・十万の位全部を表す単語として扱われています。つまり、*dek ses mil* は「千が16個ある」という意味なので、*ses* と *mil* は離して書きます。

百万は *miliono*、十億は *miliardo* と言いますが、意味は数詞であっても文法上は名詞です。「千頭の羊」は *mil ŝafoj* ですが、「百万頭の羊」は *miliono da ŝafoj* となります。

2020年の国勢調査によると、日本の人口は126,146,099人だそうです。アルファベットで書くと、*cent dudek ses milionoj (kaj) cent kvardek ses mil naŭdek naŭ* となります。

実際には、ここまで大きい数字になるとアルファベットでなくアラビア数字で書くことの方が普通なので、桁をどう分けるかをそれほど気にする必要はないかもしれません。

*unu* から *dek*、*cent*、*mil* といった基本的な数詞はどの入門書にも出てきます。ただ、*nul* (ゼロ) は出てこない教材もたまにあります。*nul* は電話番号や郵便番号などに使われていて、私たちの日常生活で用途の広い数詞ですから、ぜひ覚えてください。

---

「初心者のための語尾なし単語の使い方」は、語尾なしで使う単語が尽くしましので、今回で終了します。ありがとうございました。

連載の最初に書きましたが、語尾なし単語の使い方を知っていることは、エスペランティストとして一人前という目安になるのではないのでしょうか。

### KOVIM-19

Kampo TANAKA Kazuki (Osaka)

Frumatene en malfrua januaro mi vek-iĝis pro doloro de la gorĝo. Mi mezuris temperaturon kaj ĝi estis pli ol 37 gradoj celsie. Mi do decidis ne iri al la laborejo. Pro suspekto pri infektiĝo de la KOVIM-19 mi telefonis al la sanitara oficejo, sed la telefono de la oficejo estis okupita kaj mi ne povis paroli kun funkciulo. Mi petis ekzamenon de kuracisto, kiun mi kutime vizitas, kaj la rezulto estis pozitiva pri KOVIM-19.

De tiam la afero iris mirinde rapide:

- ① La kuracisto raportis tion al la sanitara oficejo
- ② La oficejo aranĝis pri medikamento kaj hotelo por izoli la pacienton
- ③ De apoteko oni portis medikamenton al mia domo
- ④ La oficejo informis min pri hotelo, en kiu mi estos izolita
- ⑤ En la sekva tago mi iris al hotelo per taksio, kiun preparis la oficejo

Tiamaniere la traktado iris sisteme kaj glate. Estas nenormala zorgemo nur por paciento, kiu montras simpton de malgrava malvarmumo.

En la hotelo oni permesis nek drinkadon nek fumadon. Sen nepra neceso, ekzemple forigi rubaĵon, mi ne rajtis iri ekster la ĉambron. Sen aliaj rimedoj mi distris min per saĝtelefono kaj komputilo dum la tuta tago rigardante Amazon PrimeVideo aŭ YouTube. La simptomo tuj fariĝis malgrava kaj abundan tempon mi havis. Nun mi pensas, ke mi devus dediĉi la tempon por lernado de Esperanto. La izoliteco daŭris 9 tagojn, sed nun mi ne povas rememori, kion mi faris dum la tempo. Mi nur maldiligentis. Tio povas esti unu el la postefikoj de KOVIM-19?

2022.05

田中 一喜(大阪府)

1月下旬の早朝に喉が痛くて目が覚めた。熱を測ると37度台だったので、職場は休むことにした。オミクロン株が猛威を奮っていた時期だ。念のために保健所へ電話をかけるが話し中で繋がらない。事情を説明して主治医に抗体検査をお願いしたところ、予想に反して「陽性」だった。

そこからの対応は驚くほど素早いもので、

- ①主治医より保健所に通報、
- ②保健所が治療薬を手配し、隔離するホテルを調整、
- ③薬局が自宅まで治療薬を配達、
- ④保健所より隔離ホテル決定の連絡、
- ⑤保健所手配のタクシーで翌日にはホテルに収容という手順で手際よく進められた。鼻風邪程度の症状しかない病人に対する取り扱いとしては破格のものだ。

隔離ホテル収容後は、飲酒・喫煙禁止の上にゴミ捨てなどの理由がないと部屋からも出してくれない。仕方がないので、スマホ・パソコンで一日中アマプラやYouTubeを見て遊んでいた。症状がすぐに軽快したうえに時間だけは腐るほどあったので、エスペラントの勉強をすればよかったと今は思う。収容された9日間何をしたのか、ダラダラとしていたとしか思い出せない。このやる気のなさもコロナ後遺症の一種だったのだろうか。

「マン防」が解除されたこの文書の執筆時も、新型コロナウイルス感染症の影響は続いている。特に経済的影響は甚大で、それに起因する失業者や自殺者も増えていると聞く。1日でも早く普通の生活に戻ってことを願っている。

Nun, post nuligo de "まん延防止等重点措置 (procedoj por preventi disvastiĝon de epidemio)" en mia gubernio, ankoraŭ daŭras influo de KOVIM-19. Precipe influo al ekonomio estas forta kaj serioza, pro kio senlaboruloj kaj sinmortigoj plimultiĝas. Mi deziras, ke ordinara vivo revenos eĉ unu tagon pli frue.



## EPA 早春エスペラント研修会に 65 人

2月19日(土)・20日(日)、EPA(エスペラント普及会)による早春エスペラント研修会が、ウェブ会議ツール Zoom を使って開催され、65人(受講生:日本39人、韓国4人、モンゴル1人、ネパール10人、オーストラリア2人。交流会:日本1人。講師:日本6人、モンゴル1人、ベトナム1人)が参加した。

19日、午後1時30分から開講式を行い、その後、クラスごとに学習。入門(講師:金子藤央)、初級(講師:田中雅道)、青年初級(20日午前10時~午後3時。講師:奥脇俊臣)、中級(講師:小林正幸)、自由会話1(講師:田渕八州雄)、自由会話2(講師:19日 Enkhee Chimedtseren 《モンゴル》、20日 Tran Hoan 《ベトナム》)、英語による講座(講師:木村且哉)。19日午後7時半から、参加者有志で交流会が行われ、Chimedtseren 氏と交流などを実施。

20日は、午前9時から学習。午後3時から閉講式を行った。 [←奥脇 正臣]



## スプリングフェスティバルに参加

3月13日(日)第18回国際交流スプリングフェスティバルが姫路城前のイーグレひめじで開催された。はりまエスペラント会が参加、展示場とセミナー室でエスペラントを宣伝。

そんな中、3人の



訪問者があった。一人は男性で語学に興味があるとのこと。もう一人は英国人女性で英語塾の講師で、前回も来場した人。今年の関西大会に興味を示した。3人目は大阪に住んでいるが姫路の実家に来たとのこと。関西連盟の個人会員で、話がはずんで2時間しゃべった。まん延防止等重点措置のため訪問者は少なかったが、楽しい1日だった。 [←多田 龍二]

## 神戸エスペラント会の近況

神戸市青少年会館(JR神戸駅海側ハーバーランドビル5階)の登録団体を今年も継続することができた。

申請書類の活動報告・活動計画には「健全な青少年の育成」活動にも触れる必要がある。この事も思い出しつつ、1月9日(日)13:30~15:00「エスペラントを話してみませんか」という講習会イベントを行ったが結果は参加者0人だった。

次のチャンスが巡ってきました。青少年会館で「わくわく楽校」の講師募集中とのこと。3月20日(日)に、神戸市青少年会館オープニング記念イベント「会館フェス」の一つ「わくわく楽校」にエスペラント講座「エスペラント(国際補助語)とは?」で、1時間のコマに参加した。オープニングイベントとは、三宮にあった青少年会館がそのビルを建て替えるために閉鎖して、ハーバーランドビルの5階に移転して昨年の7月1日より供用開始となつてのイベントだからです。

会からは4人が参加、お客さんは3人。お客さん3人の内10代くらいの女性2人は、会員のチラシを持っての誘いに応じてくれた人、男性1人は次のコマで「英語発音講座」で先生をやる、神戸外大の男子学生。これは、木元が「講師控室」で雑談中に「サクラ」をお願いしてに応じてくれた人。こうして神戸エスペラント会の青少年会館における対外活動を果たすことができた。 [←木元 靖浩]

## 訃報:青山徹(あおやまとおる)さん

3月26日死去、83歳。目黒エスペラント会会員。銀行勤務のため転居が多く、行く先々でエスペラント活動の中心になった。67人の共訳による『ザメンホフ通り エスペラントとホロコースト』では、三人の監訳者のひとりとして全体をまとめた。

# Vortkruca enigmo

TAKEMORI Hirotoŝi

Vicigu adekvate 7 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun stelo. Tiam vi akiros nomon de danĝera insekto.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de majo, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retroŝte al <lamovado@gmail.com>

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1		2	3	4	5	6	7	
		8		★		7		9
	10					★		
11					12		13	
		14		15	16			
17				18	19			
		20	21					
22						23	24	
		25			26			

**Horizontale:** 1. Ne ~u ĝis morgaŭ, kion vi povas fari hodiaŭ. (x) 8. Mi ~ monon de miaj amikoj. 10. La ~ de lia kulpeco. 11. Papago povas ~i la homan voĉon. (x) 12. Honora respekto. Oni skribas en la libro jenan frazon: "Kun la ~o de la aŭtoro." (x) 14. Iaj birdoj ~as siajn ovojn en aliajn nestojn.(x) 16. La 24~ de februaro komenciĝis la milito. 17. Zamenhof havas ~ infanojn. 18. Malestimi la alian personon kaj ridi malvarme. La vic-patrino moke ~is pri Cindrulino.(x) 20. Tiu ~o estas malplena. Estas nenio en ĝi.(x) 22. Japanio ~as en la norda hemisfero.(x) 23. ~o estas la plej valora el ĉiuj metaloj.(x) 25. ~a angulo havas naŭdek gradojn.(x) 26. Tio estas ~ komplika!

**Vertikale:** 1. Mi trinkas ~ ses tasoj da kafo

en ĉiu tago.(x) 2. ~j vivas pli longe. 3. La instruisto skribis literojn sur la nigra tabulo ~. 4. La verkisto, Tolstoj estas ~o. (x) 5. Batal~, Esper~, parol~. 6. Unu el organoj, la plej vasta kaj ĉefa parto de la nutrotubo. 7. Kio estas ~o? 9. Ivan la mal~ulo.(x) 10. Mi ~as vin.(x) 11. Alia organo: dika ~o, maldika ~o.(x) 13. La esperanta nombro-esprimo estas ~a al tiu de la japana lingvo.(x) 15. Sunaj radioj penetras ~ vitra fenestro.(x) 19. Kapt~, nask~, vund~. 21. Li for~is por savi sian vivon.(x) 24. ~veni, ~konstrui, ~naskiĝi.

La solvo al la marta enigmo: **VARMA LAKTO**  
La ĝustan solvon donis 10 legantoj:

CA,  
濱田 國貞,  
島津 泰子,  
Sayuri,  
松川 まきこ,  
Grebo,  
TADA,  
平井 倭佐子,  
本田 照美,  
Kacu

E	P	I	D	E	M	I		B
	A	L	I		I		D	A
E	N		G	O		V		L
M	O	R	O		T	O	N	O
I		E		P	A	L	A	T
	F	A	L	I	G	I	S	
K	O	K	A	Ĵ	O		K	E
A	N	I	M	A		V	I	C
Ŝ	T	R	U	M	P	E	T	

## 楽しい作文教室 (129) 成績

8人の方から応募がありました。( )内は留意事項です。

うん、良いね : Ivajo, CA, Haveno(④ alfrostiĝa), Eiko(③ flosas).

良いね : ikona(① satelitojn ② luna), Celejo(③ en kiu ④ vacuo), Drako(② 対格 ③ kiu), Jasuko(② turniĝi ③ en la tero)。

宗教専門紙「中外日報」(令和4年3月18日号)にエスペラント普及会専務理事木村且哉による「大本とエス語 100年①」が掲載された。4回連載のうちの第1回で、出口王仁三郎師がエスペラントを大本に取り入れたきっかけや、人類愛善の思想とザメンホフの目的が一致していることなどを詳しく説明している。ホマラニスモについても言及がある。 [←奥脇 俊臣]

### ウクライナ侵攻に世界の声

群馬県の堀泰雄さんが、「ロシアのウクライナ侵攻、世界の声」というタイトルの文書を発表した。長年の活動でつちかった人脈を駆使して、ウクライナ問題についての各国エスペランチストの声を集めたもの。70ページを超える文書で、被害を受けているウクライナの住人を初め、チェコ、イタリア、ブラジル、イスラエル、日本……と各大陸からの声がエスペラントと日本語の両方で掲載されている。世界エスペラント協会のよびかけ、日本エスペラント協会の声明も含まれている。

### 楽しい作文教室7月号課題 (5月20日締切)

①朝いつものように駅まで歩く。  
 ②道路には乗用車が多いがトラックもいる。  
 ③途中の交差点を渡るのに信号で2分待つ。  
 ④スーパーと銀行の横を通り右に曲がる。  
 (ヒント) 乗用車 *personaŭto*、スーパー *superbazaro*、交差点 *vojkruciĝo*、*transiri* を調べましょう。  
 日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。  
 送付先：  
 [郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛  
 [電子メール] [c\\_tak@esperanto.ne.jp](mailto:c_tak@esperanto.ne.jp)  
 (件名に「作文」の文字を入れてください)  
 添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

- ★4月より営業日を変更しています。  
毎週月曜から金曜(祝日を除く)。  
第1, 3土曜(第2, 4, 5土曜は休業)。  
営業時間は10時から17時で変更ありません。
- ★3月26日(土)に棚卸を実施しました。事務局員(大西真一さん、大畑賀代子さん、田熊健二さん、東藤薫久さん、中道民広さん)のほか、相川節子さん(宇治城陽)が参加しました。
- ★棚卸の後、事務局会議を開催しました。業務の分担や什器の買い換えなどについて話し合いました。
- ★新年度の当直体制は、昨年と変わらず、月(大西)、火(中道)、水(大畑)、木(田熊)、金(東藤)、奇数月の土(中道)、偶数月の土(田熊)です。

### 第71回関東エスペラント大会

2022年5月28日(土) 29日(日)  
八王子市学園都市センター

### 第70回関西エスペラント大会

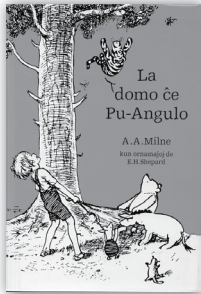
2022年6月18日(土) 19日(日)  
大阪市立中央会館(堺筋線長堀橋駅)

### 第109回日本エスペラント大会

2022年9月23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)  
八王子市学園都市センター

### Kurantaj Vortoj

戦争犯罪 *militkrimo*  
 対戦車ミサイル *kontraŭ-tanka misilo*  
 オリンピック休戦 *olimpia armistico*  
 デフォルト *defaŭlto*  
 ([金融]債務不履行、[情報]既定値)  
 兵站学 *logistiko*  
 人道回廊 *homama koridoro*



## ★ 新刊・新着 ★

**La domo ĉe Pu-angulo**

3100円

ミルン『プー横丁にたった家』。おなじみ『クマのプーさん』の続編。シェパードによるさし絵も収めた美しい豪華本。A 5判、184p.

## 日エス現代用語集 (第3版)

1500円

## 日エス現代用語集 (第2版補遺)

300円

山川修一編集の用語集。第3版(7800語収録)は第2版と第2版補遺を合本。第2版をお持ちの方は第2版補遺をお求めください。

**Esperanto por mi 4**

500円

画家ヘルガが描く相川拓也 JEI 事務局長らエスペランチスト 16 人の肖像とエッセイ。A 4判、16p.

**La fera birdo**

1300円

Julian Modest の最新短篇集。人生の一コマを鮮やかに描く味わい深い 30 作品。A 5判、99p.

**Solaris**

2200円

惑星ソラリス上空のステーションに到着したケルビンは不思議な「海」の謎を探る……。スタニスワフ・レムの S F 「ソラリス」。A 5判、274p.

**Vojaĝo al la centro de la tero**

2200円

地球の中心へ旅だった三人が目にしたのは驚異の世界。ジュール・ベルヌの「地底旅行」。オリジナルのリウーのさし絵もたのしい。A 5判、250p.

## ★ 絵本をたのしむ ★

**Winnie-La-Pu**

1700円

ミルン『クマのプーさん』。クリストファー・ロ

ビンとプーやコブタら仲よしの動物たちが森を舞台に繰りひろげる愉快な冒険。

**Flugoranĝo rakontas**

1700円

平和学者ガルトゥングがやさしい言葉で人間社会の課題を語る寓話絵本。

**La plej eleganta giganto de la urbo**

1500円

新しい服を手にいれご機嫌なジョージは助けを求める動物たちに出会う。ジュリア・ドナルドソンの絵本(シェフラー絵)。

**Spaco sur la balail'**

1500円

ホウキにまたがり空中散歩の魔女とねこ、突風に帽子や杖が飛ばされて。ジュリア・ドナルドソンの絵本(シェフラー絵)。

## ★ 再入荷(一部価格を改定) ★

**Bona rido**

500円

**Kunvojaĝu**

2700円

**Kuru, knabo, kuru**

2900円

**Ok noveloj**

2700円

**Pri Esperanta literaturo**

450円

**Tamen ĝi moviĝas**

1600円

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

**編集ノート**

★第70回関西大会は、4月末までに参加を申し込みとお得です。

★Kajero libervola に山田義さんが登場。北川昭二さんと隔月に書いていただきます。

発行所:ラ・モバード社 編集:相川節子 発行人:染川隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共本 局:一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曽根東町1-11-46-204

電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール:esperanto@kleg.org

振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ:http://www.kleg.org

九州支局:九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話(0957)43-4352

中国四国支局:中国四国エスペラント連盟内771-0371 徳島県鳴門市北灘町櫛木字観音面14-1 木谷幸子方 電話(088)688-1098